

【令和2年度田無すくすく保育園 事業報告書】

1 2020年度の概要

「風と光と笑顔あふれる保育園」をモットーに地域に親しまれ、こどもにもおとなにも信頼されるいごちのよい保育園をめざすことを基本理念のもと、田無すくすく保育園では

- ・いっぱいあそび いっぱい食べ いっぱい寝て にこにこ笑顔で過ごそう
- ・じぶんもまわりの人や物もたいせつにしよう を園の目標とし、

2点の大きな目標の元、今年度は特に

(ア) 元気に挨拶 (イ) 助け合いの心を掲げた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、緊急事態宣言が4月7日に発令。

保育の提供を実施する対象を医療従事者や社会機能を維持するために必要な業種に該当している場合に限って特別保育を行った。5月25日解除されるも、行事の中止や規模縮小が求められた。園の対策として、園内保護者の立ち入り禁止・給食テーブルにパーティション設置・手指アルコール消毒・換気・けんこうの記録表・検温などできる限りの対策に取り組んだ。新しい生活スタイルに変化したが、子どもたちに混乱は見え、また保護者も園の対策に協力する姿が見られた。今後も新しい生活スタイル＝工夫した生活を送れるようにしていきたい。

児童利用状況

◆月極利用児童受託状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6人	15人	15人	20人	20人	20人	97人
4月利用者	6人	15人	15人	20人	21人	20人	97人
10月利用者	6人	15人	15人	20人	21人	20人	97人

2 重点項目報告

(1) 保護者との関係性づくり

今年度は懇談会・保護者参加の行事が中止となり保護者との信頼関係構築が難しかった。また保護者同士で

会う機会もなかったため同じクラスの子の名前がわからないなど意見があった。窓側に顔写真を貼り、またクラスの活動の様子を毎日印刷して入口に貼るなど少しでも情報提供できるようにした。園舎内に入れないことで保護者の不安材料にならないよう職員同士の連携やスキルが求められた1年だった。

(2) 給食に対する取り組み

・クッキング活動は出来なかったがペーパーサートや絵カードを用いて、子どもたちが食材に興味を持つ活動を行うことができた。1回ではなく複数回に分けて行うことで理解の幅が増えると感じた。

・離乳食など個々に合わせた食事提供を行うことはできたが、保護者との感覚のずれなどがありスムーズに進めることが出来なかった。個人面談の際に実際に見てもらうことでアドバイスができたので、何回か話す機会を設けるべきだった。

【園庭での野菜の栽培・収穫】

3歳児	おくら・とまと
4歳児	ズッキーニ・パプリカ
5歳児	すいか・ゴーヤ・なす

【調理保育・食育】

3歳児	食事のマナー
4歳児	箸の使い方・野菜について
5歳児	月見団子作り・三食食品分について知る・旬について・クッキング（野菜切り）

(3) 保育活動

0歳児：緊急事態宣言により慣れ保育が大幅にズレた。午睡が定着するまでに時間を要し、また離乳食の進みが遅かった。懇談会等なかったことで保護者との連携を図るのが難しかった。個人面談で話すことで共通理解がとれるようになった。

1歳児：子どもが自由に遊べるように環境設定を行うことで落ち着いて過ごすことができた。園外活動が自粛傾向にあった為、同じ公園での活動が続いてしまった。怪我をしない為に活動を躊躇する姿が見られたので、子どもの動きを予測して様々な活動ができるようにしていく。

2歳児：基本的習慣が身に付き身の回りのことを自分でしようとする姿がみられる。一方で月齢差が大きく、出来ない子への援助で悩むこともあった。ひとり一人にあった声かけをすることで改善しつつある。

3歳児：慣れ保育後の臨時休園でクラスのまとまりが出来るまでに時間を要した。散歩が減ったことで体力、幼さなどが目立った。少しずつ歩く距離を伸ばし活動時間を長くした。配慮が必要な子に対して専門機関との連携をとる事で家庭に後押しできるようにしていきたい。

4歳児：重度のアレルギー児がいるため、2重チェックを怠らないようにした。友達同士のトラブルが多く、けがに繋がるが多かった。改善の為、担任だけでなく職員会議でアクシデントレポートを分析、話し合うことで見えなかった原因や環境設定の改善を見つけることができた。

5歳児：保護者と向き合うことで必要だとされる援助を行うことができた。卒園に向け小学校と連絡を取ることで安心して送り出すことができた。

土曜保育：在宅ワークが増えたことで人数が日によってばらつきが出るようになった。0歳児クラスがいるときには落ち着いて遊べるように幼児、乳児分けた。

延長保育：土曜同様、お迎え時間が全体的に早くなり 18時半で閉園の日が多かった。少人数の為、好きな遊びができ家庭的な保育をすることができた。

(4) 職員の協力体制・資質向上

認識の違いや引継ぎの甘さ、また明確な役割を与えないと動けない者が多い。また在宅ワークが導入された

ことで個人の仕事量に差が見えるなど課題が出来た。

専門性を高められるよう、個人にあった研修への参加を考え、スキルアップを望みたい。

【職員構成】

常勤職員 17名				パート職員 19名			
施設長	1名						
保育士	13名	看護師	1名	保育士	8名	事務員	1名
栄養士	1名			保育補助	2名		
調理師	1名			調理員	5名		
				嘱託医	3名		

※常勤内2名 8月・11月から育児休暇に入る

3 その他事業

(1) 地域交流報告

新型コロナウイルス感染症により保育所体験を中止。見学は10月になってから人数を限定して園庭からの見学を開始した。行事の際に代表者3名がご近所に挨拶回りに伺ったが、都営住宅の会長さんは子どもたちの訪問に大変喜ばれた。この交流を機に卒園式には毎年手作りのペン立てをもらっている。

(2) 小学校との連携

同じブロック内にある小学校の体育館を借りて運動会を行っていたが、新型コロナウイルス感染症により使用が出来なかった。その為、児童要録にて子どもの情報交換は行ったが、つながりが薄い。学校公開に参加するなど小学校との連携をとっていききたいと思う。

(3) ボランティア・実習生の受け入れ

① 実習生

日程	学校名	人数	担当保育士
11月24日～11月30日	十文字学園女子大学	1名	山田 梨奈

② 職場体験

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止

(4) 要支援児童への対応

時間をかけて、担任より園での様子を保護者にアプローチすることで保護者が相談をしやすい環境をつくる。また専門機関との連携により、園での生活でのアドバイス等を聞くことができ、本児も担任も負担が減った。担任だけでなく園全体で見守れる姿勢を築き上げていく。

7 保健衛生実施報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児			17日	14日	6日	17日	休園	12日	3日	21日	4日	4日
内科			24日									
歯科			25日					25日				
眼科						9日						
歯科衛生												
職員検便	15日	20日	10日	8日	12日	9日	7日	11日	9日	13日	10日	10日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アゲン ト	3件	3件	3件	5件	6件	9件	1件	8件	9件	7件	3軒	5件
受診 件数	1件	1件	2件	1件	1件	3件	2件	3件	1件	2件	1件	4件

※夏場にかけて受診件数や怪我が多くある。プール活動をしなくなった反面、水遊びでの怪我が多発した。遊び方や環境を見直す必要がある。また休園により2ヶ月ほどクラス活動がなかったため子どもたちの体力が落ちる。リトミック等を取り入れ体幹を強くする活動を取り入れた。

8 危機管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難訓練	28日	22日	12日	29日	9月1日	29日	24日	24日	28日	29日	24日	26日
光化学スモック	学校情報をもとに行動し、玄関先にパウチを出すことで保護者に周知した											
危機管理	安全点検チェック						毎月 事務が担当					
	SIDS チェック						毎月 各クラス担当					
	事故防止チェック						毎日 各クラス担当					
健康管理	保健関係確認(既往歴・保険証)						年2回 看護師					
	身体測定						毎月 各クラス					
	児童各種健康診断						上記参照					

9 職員会議

①施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園会議	13日	26日	25日	22日	28日	26日	28日	27日	18日	22日	2日	18日
	15人	17人	14人	14人	13人	13人	13人	16人	12人	11人	12人	13人
給食	23日	25日	26日	30日	27日	24日	26日	20日	18日	21日	20日	25日
	2人	2人	5人	5人	5人	5人	4人	3人	16人	6人	5人	4人
運営委員							6日 9人					5日 中止
その他			4・3 08人				6日 7人					

②施設外会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園長	15日	20日	17日	15日	9/2	中止	7日	11日	9日	13日	3日	3日
看護師								11日				
栄養士										辞退		

10 苦情処理

ご意見箱・口頭・書面・連絡帳などによって寄せられたすべての意見・要望・苦情について、原則「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。

今年度は連絡帳に行事の質問や意見が寄せられ対応した。迅速に対応することで苦情等になることはなかったが、今年度入園の方と会う機会が全くなかったので保護者との関係性をつくる難しさを痛感した。

11 情報公開

携帯で各クラス情報やおたよりが閲覧できるようになって便利になったが、保護者によってはホームページを見ておらず忘れ物に繋がることがあった。常に情報を発信していることを投げかけていく必要がある。

1 2 研修報告

① 園内研修

4月	エビペンの使用方法	10月
5月	コロナについて	11月
6月	在宅勤務報告&水遊びについて	12月 感染症について
7月		1月
8月		2月
9月	AED 緊急時対応	3月

② 外部研修

中堅層には処遇改善Ⅱにおけるキャリアアップ研修の受講を優先させたが相次いで中止になった。その為、各年

齢の発達と保育についての研修、遊びからの学びなど园内研修の参加を積極的に行った。

主任・副主任においては市の”保育の質とガイドライン”の研修に参加。職員の資質向上に向けこの研修を通して学んだことを活かし、また指導力を高めて欲しいと願う。

1 3 来年度に向けて

新型コロナウイルス感染症により、工夫した生活が求められた1年になった。元に戻すのではなく、この機会に行事の在り方をもう一度考え、有意義なものに改善していく。

保護者との共通理解を深いものにするため、ホームページを使い情報発信していく。

職員全体で見直し、話し合うことで園全体で考える姿勢を築き上げていく。

以上